

「アメイジングガーデン・浜名湖」令和元年度 登録計画事業実施報告

令和2年3月

浜名湖ガーデンツーリズム推進会議

令和元年5月に国の「ガーデンツーリズム登録制度」に登録された「アメイジングガーデン・浜名湖」の事業について報告します。

1) 共通入場券販売事業

(1) 名称：浜名湖ガーデンツーリズム共通入場券

価格：1,800円（税別）

内容：アメイジングガーデン・浜名湖の構成7庭園のうち、
有料5施設中3施設に入場できる

期間：利用開始日より2日間

販売：構成7庭園、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、各プレイガイド

時期：2020年3月1日～

目標：5,000枚

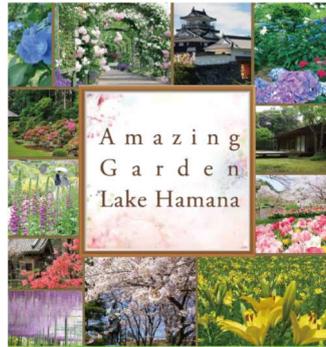


2) 周辺施設を含めた周遊事業

(1) アメイジングガーデン・浜名湖紹介パンフレットの作成

内容：アメイジングガーデン・浜名湖の構成庭園やアクセス、2日間のモデルコースの紹介

数量：3万部



アメイジングガーデン浜名湖を巡るモデルコース



(2) JTB パブリッシング「るるぶ 浜松・浜名湖」での特集ページ作成

内容：るるぶ浜松浜名湖の巻頭ページに構成7庭園と、浜名湖ガーデンツーリズム共通入場券を利用したモデルコースを紹介

発行日：2020年3月



(3) ウェブメディア「るるぶ&MORE」での特集ページ作成

内容：アメイジングガーデン・浜名湖の構成7庭園を紹介

期間：2020年3月18日～

(4) アメイジングガーデン・浜名湖×浜名湖花フェスタ 花めぐり集印帳の販売

内容：F1層を対象に施設間の周遊と満足度向上のために実施中の「花めぐり集印帳」の対象施設にアメイジングガーデン・浜名湖の3施設（加茂荘花鳥園、可睡ゆりの園、松韻亭）を追加。各施設の花のスタンプを作成。2020年は、特別色として紫バージョンを発行。

期間；2020年2月1日～



3) 旅行商品及びモデルルート造成事業

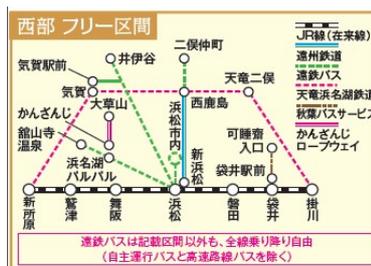
(1) JR 東海との連携による浜名湖ガーデンパスの販売

内容：JR 新幹線と二次交通がセットになった「ふじのくに家康公切符」(2日間有効)にアメイジングガーデン・浜名湖の3施設（はままつフラワーパーク、龍潭寺、浜松城）の入場券を付帯。

価格：1,000円

期間：2020年4月～6月

扱い：JR 東海ツアーズ、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、名鉄観光



(2) アメイジングガーデン浜名湖号ツアー

内容：名古屋発着で、JR と天浜線をつかって、4施設（龍潭寺、はままつフラワーパーク、可睡ゆりの園、加茂荘花鳥園）を周遊するツアー

時期：2020年6月6日（土）

扱い：JR 東海ツアーズほか

(3) えんてつバンビツアー 『こだわり紀行』アメイジングガーデン浜名湖

内容：塚本こなみ会長のガイドで、構成庭園を巡るバスツアー。浜松駅発着。

時期：2020年4月・6月

(4) 楽天トラベル 浜名湖ガーデンツアーリズム共通入場券付き宿泊プラン

内容：楽天トラベルにて、浜松・浜名湖エリアの宿泊施設にて、共通入場券付きプランを販売

時期：2020年3月～

4) 情報発信事業

(1) アメイジングガーデン・浜名湖 HP の作成

内容：ガーデンツアーリズム登録制度及びアメイジングガーデン・浜名湖の7施設の公式HPを開設。シンポジウムの開催や、浜名湖花フェスタの開幕など新着情報も発信。

時期：2019年6月～

(2) アメイジングガーデン・浜名湖シンポジウムの開催

内容：ガーデンツアーリズム登録制度とアメイジングガーデン・浜名湖の取組を地域住民及び関係団体へ主値するために、シンポジウムを実施。須磨和津江さんをコーディネーターに構成庭園代表によるパネルディスカッションも実施。

日時：2019年10月17日(木) 午後2時～午後4時30分

人数：238名



シンポジウム
1400 〆 開 演
1405 〆 開会挨拶
1410 〆 開会挨拶
1420 〆 挨拶
1430 〆 挨拶
1440 〆 挨拶
1450 〆 挨拶

【主催】民間庭園協会
【協賛】民間庭園協会
【後援】民間庭園協会

【お問い合わせ】
TEL 053-458-0011 FAX 053-458-0013
info@hamacon.net

その他特筆すべき事項

(1) 庭園メディアおにわさんとの連携企画

内容：全国 1,100 ヶ所以上の日本の庭園を紹介する庭園メディアおにわさん（浜松市出身、SNS フォロワー約 8000 名）と連携し、構成庭園を巡るツアー造成を検討中。

(2) 構成庭園のおもてなし向上事業

内容：推進会議にて、各構成庭園が施設管理等に関するプレゼンと施設の現地視察を実施。サービス向上のための情報共有を実施している。

時期：6月17日 はままつフラワーパーク

8月30日 浜名湖ガーデンパーク

12月5日 龍潭寺

2月21日 浜松城公園・松韻亭

全体を通じての効果や成果

- ・ガーデンツーリズムの登録を機に、構成庭園間の連携や交流が促進された。2020年1月に、小国神社（森町）が加入したこともあり、浜松・浜名湖エリアと中東遠エリアが連結し、静岡県西部地域の花と庭園の魅力発信がより加速されることが期待される。
- ・アメイジングガーデン・浜名湖シンポジウムの開催等により、地域住民及び関係団体への浸透は徐々に行われてきているものの、ターゲットとすべき F1 層への訴求が不足しているため、F1 層向けの PR を強化していく必要がある。
- ・当財団が行ってきたメディアや旅行会社との商談においても、ガーデンツーリズムの話題性・期待度は非常に高く、共通入場券に対する興味関心も高かった。今年度は、JR ディスティネーションキャンペーンの流れもあり、連携ツアーが実施されることになった。今後、これらの実績をもとに、継続的なツアー実施がなされるよう協力して行っていきたい。

今後の取組

- ・浜名湖ガーデンツーリズム共通入場券の販売促進
旅行代理店・プレイガイドを通じた販売の促進
宿泊施設との連携による販路拡大
- ・全国花のまちづくり浜松大会での PR
5月23日～25日に開催される「全国花のまちづくり浜松大会」にて塚本会長による講演やバスと列車で巡る現地視察会を実施。
- ・F1層向けの情報発信
女性向けメディアと連携し、構成庭園や周遊ルートを紹介による誘客
- ・インバウンド（訪日外国人旅行者）拡大に向けた取り組み
施設の受け入れ環境整備（多言語解説文作成事業、ウェブの多言語化）
通訳ガイドの養成
- ・協議会の自走化に向けた検討
構成員からの負担金を含めた協議会運営経費の検討
共通入場券の販売促進による利益還元の仕事みづくり

